

～東北地方太平洋沖地震の影響による津波への対応～

長良川河口堰管理所

3月11日14時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のマグニチュード9.0の地震が発生しました。この地震により津波の発生が予想されたことから、15時14分に伊勢・三河湾に津波注意報、15時30分に津波警報が発表されました。

長良川河口堰管理所では、15時14分に津波警戒のため防災態勢を発令し、堰上流水位の低下を開始させるとともに、管理橋門扉の閉鎖や巡視船の陸揚げ作業等を行い、津波の襲来に備えました。

観測基準点である伊勢湾口の神島観測所において、16時40分に津波の第1波を観測、17時50分に第2波を観測、18時20分に第3波を観測しました。いずれの津波の高さも2m以下であったため、ゲートを全開する操作は行いませんでした。

堰下流地点への津波の到達は第1波を18時20分、第2波を19時30分に観測しました。観測した津波高の最大は第2波の約70cm(堰下流地点)でした。

3月12日13時50分に伊勢・三河湾に発表された津波警報が注意報に切り替えられ、20時20分に注意報も解除されました。これを受け、長良川河口堰管理所では防災態勢を解除しました。

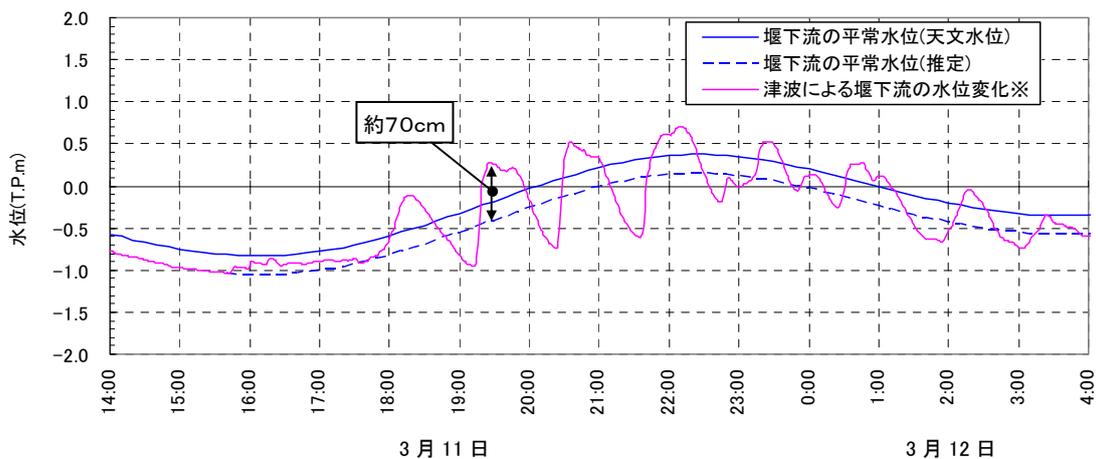
今後とも、管理の万全を期すべく津波訓練の充実を図りながら、日々万全の体制で的確に施設を管理し、地域の方々の暮らしと安全を確保して参ります。



管理橋門扉閉鎖



揚船作業



津波による水位の変化(長良川河口堰下流)

※長良川河口堰管理所の水位計での観測値

長良川河口堰では、通常(平常時)堰上流で取水している都市用水等に支障が無いように塩水遡上を防ぐためのゲート操作(水をゲートの上から流すオーバーフロー操作、水をゲートの下から流すアンダーフロー操作)を行います。その他、洪水時や高潮時、神島地点で津波高さが2mを超える津波時には、ゲートが支障を及ぼさないように全てのゲートを堤防高よりも高く引き上げる全開操作を行います。